

Fairy TopIX 2024 候補作一覧

❖推理将棋・プルフゲーム部門

推1～推3	WFP作品展	P2～P3
推4～推5	秋のやさしいフェアリー	P4
推6～推45	詰将棋メモ	P5～P36

候補作は全45作。2023年は43作でしたので、発表数は2作の増加となりました。目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

【更新状況】

4/5 候補作一覧を公開

推1 2024/2 さつき

衝立推理（指し直し上限：双方8回）

26歩（-） 58金（-） 49玉（26）
36歩（-） 37桂（37） 26飛（36）
36飛；歩（-） 34飛；歩（-） 38玉（34）
46歩（46+） 48玉（-） 38銀（++）

<第159回WFP作品展 159-10>

26歩 34歩 58金右 44角 49玉 26角
36歩 35歩 37桂 同角生 26飛 36歩
同飛 34歩 同飛 32飛 38玉 34飛
46歩 同角成 48玉 29飛 38銀 36桂 まで 24手

推2 2024/5 さつき

衝立推理 22手（後手視点、指し直し上限8回）

- a)（-） 84歩（-） 85歩（-） 86歩；角
（86） 86飛；歩（-） 76飛（-） 97角
（-） 79角成；銀（79） 34歩（76） 99角成；香
（-） 77馬+（-） 87銀++
- b) 最終手87銀++ → 88銀++

<第162回WFP作品展 162-5>

- a) 96歩 84歩 97角 85歩 86角 同歩
同歩 同飛 68玉 76飛 78玉 97角
87玉 79角成 同金 34歩 76歩 99角成
97角 77馬 98玉 87銀 まで 22手
- b) 76歩 84歩 77角 85歩 86角 同歩
同歩 同飛 75歩 76飛 96歩 97角
78飛 79角成 同飛 34歩 76飛 99角成
68玉 77馬 79玉 88銀 まで 22手

推3 2024/10 一乗谷酔象

推理将棋『両王手28回 83手』

「負けました。結構粘ったんだけど83手で詰みか。感想戦をお願いします」

「異なる玉位置に28回も両王手を掛ける猛攻には痺れたね」

「いろいろな駒がよく働いたな。両王手でない普通の王手(単王手)を掛けた駒は3種類。玉の手に対しては3種類の駒で応じていたし、不成の手に対しては5種類の駒で応じていた」

「一枚の駒だけは16連続で動いたんだね。飛の手も多かったけど一枚の飛が2連続で動いたのは1回だけだったんだ」

「先後2手ずつ4連続で一つの筋に指した攻防が勝負を分けたんじゃないかな」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- 1) 83手で詰んだ
- 2) 異なる玉位置への両王手が28回だった
- 3) (a) 単王手を掛けた駒が3種類、
(b) 玉の手に対する応手の駒が3種類、
(c) 不成の手に対する応手の駒が5種類
だった
- 4) 一枚の駒が16連続で動いた
- 5) 一枚の飛が2連続で動いたのは1回だけ
- 6) 一つの筋に先後2手ずつ4手続けて指した

<第166回WFP作品展 166-12>

76歩 42玉 33角生 同玉 38銀 32飛 77桂 24玉 18飛 37飛生 26歩 17飛生 37桂 15玉 17飛 26玉 27銀 37玉 16飛打 98角打 26銀 36玉 37銀 47玉 36銀 46玉 47銀 57玉 46銀 56玉 57銀 67玉 56銀 66玉 67銀 77玉 66銀 76玉 77銀 87玉 76銀 86玉 87銀 97玉 86銀 96玉 85銀 95玉 14飛 86玉 97飛 75玉 94飛 54角生 95飛 18角生 84銀 74玉 75銀 65玉 74銀 64玉 65銀 55玉 64銀 54玉 55銀 45玉 54銀 44玉 45銀 35玉 44銀 34玉 35銀 25玉 34銀 24玉 25銀 15玉 24銀 14玉 15銀 まで 83手

推4 2024/10/16 シナトラ

5五将棋プルーフゲーム 10手 (2解)

持駒 なし

5	4	3	2	1
逆	馬		駒	王
	変			
歩				卒
王	金	銀	角	飛

持駒 なし

5五将棋 初形

持駒 なし

5	4	3	2	1
逆	馬	駒	変	王
				卒
歩				
王	金	銀	角	飛

持駒 なし

<秋のやさしいフェアリー ⑨>

解1) 43角 13歩 21角生 14歩 43角生 32銀 21金 同銀 25角 43金 まで 10手

解2) 34角 32金 12角 43金 32歩 同銀 34角 14歩 25角 21銀 まで 10手

推5 2024/10/18 シナトラ

5五将棋プルーフゲーム 13手

持駒 なし

5	4	3	2	1
			駒	逆
		馬	変	卒
			王	
歩				
王	金	銀	角	飛

持駒 なし

5五将棋 初形

持駒 なし

5	4	3	2	1
逆	馬	駒	変	王
				卒
歩				
王	金	銀	角	飛

持駒 なし

<秋のやさしいフェアリー ⑫>

14飛 22玉 34飛 23玉 31飛生 22金 34飛生 32角

11銀 同飛 14飛 21銀 15飛 まで 13手

推6 2024/1 けいたん

全手順偶数筋 11手

「同飛成まで11手で詰みか。成る手はこれしかなかったね」

「2手目は歩突きだったな」

「全手順偶数筋の着手だったね」

「2024年、令和6年の指しはじめには相応しいかな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手で詰み
- ・ 唯一の成る手は、とどめの同飛成
- ・ 2手目は歩突き
- ・ 全手順偶数筋の着手

<第170回 詰将棋メモ 推理将棋出題 170-1>

▲66歩、△64歩、▲65歩、△62飛、▲64歩、△63飛、
▲同歩不成、△82銀、▲42飛、△62金、▲同飛成 まで11手

推7 2024/1 Pontamon

2024年の年賀推理 11手

「あけましておめでとう。今年も元旦から年賀状書きか。今年の年賀推理はどんな感じ？」

「後手玉を詰める11手目は、駒成があった6筋地点への小駒移動の手だよ」

「そうか、令和6年の6筋絡みの条件で、駒成も最終手も6筋の同じ地点なんだね。今年はいつもの詰み上がりじゃないみたいだね」

「……。あと、大駒の初期配置地点から大駒が動く手は2回だよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手で詰み
- ・ 最終手は駒成があった6筋地点への小駒移動の手
- ・ 大駒の初期配置地点から大駒が動く手は2回

<第170回 詰将棋メモ 推理将棋出題 170-2>

▲76歩、△42玉、▲33角不成、△32玉、▲66角成、△24歩、
▲88馬、△23玉、▲78馬、△12玉、▲66歩 まで11手

推8 2024/1 Pontamon

縦と斜めを交互に 11手

「今年は2024年だから、24地点の手が2回あって11手で詰む年賀推理を作ったよ」

「どんな条件なの？」

「後手が着手した駒は2枚だよ」

「12年前の辰年は平成24年だったので、24龍で詰む推理将棋があったなあ。あれも後手の着手駒は2つだった」

「24地点の着手は最終手以外で2回だよ」

「最終手が24の手じゃないなら12年前の作品は余詰にはならないね。でも、よく君が作っている年賀作品も後手は2枚の駒だし、24着手を2回指して詰ますことができるから余詰が心配だね」

「もうひとつ条件があって、後手は、縦方向の着手と斜め45度方向の着手を交互に指したんだ」

「2手目が縦の手だと縦の手が3回で斜めの手が2回、斜めの手から始めると縦の手2回と斜めの手が3回ということか．．．」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手で詰み
- ・ 最終手以外で24地点の着手が2回あった
- ・ 後手が着手した駒は2つ
- ・ 後手は、縦方向の着手と斜め45度の着手を交互に指した

<第170回 詰将棋メモ 推理将棋出題 170-3>

▲26歩、△44歩、▲25歩、△42玉、▲24歩、△43玉、
▲23歩成、△34玉、▲24と、△35玉、▲25飛 まで11手

推9 2024/1 ミニペロ

三捨利警部・新春ミステリー 同じ数字が13回 11手

「11手で詰んだ将棋の棋譜に、同じ数字が13回も出てくるとはということだ」

「おそらく同じ筋や同じ段が多く指されたということでしょうか」

「そんなことは誰でもわかるよ。じゃあ、6手目に6筋着手とは？」

「令和6年に合わせたか」

「なるほど。しかし初手は歩ではないそうだが」

「何か事情があったんでしょうな」

「成る手1回、王手2回はどうなんだ」

「それが分からんです」

「それがじゃなく、結局何も分からんのだな」

誰か分かる人いますか？

(同は数字ナシですよ！)

(条件)

- ・ 11手詰
- ・ 棋譜上、同じ数字が13回
- ・ 成る手1回、王手2回
- ・ 6手目は6筋
- ・ 初手は歩ではない

<第170回 詰将棋メモ 推理将棋出題 170-4>

▲48飛、△34歩、▲46歩、△44角、▲45歩、△64歩、
▲44歩、△74歩、▲84角、△42玉、▲43歩成 まで11手

推10 2024/1 NAO

2024年の指し初め 11手

「指し初めをやろうよ」

「年も明けたことだし気分一新、23地点と5筋と5段目への手はなしにしよう」

「よしわかった。正月だし、不成の手もなしだよ」

・・・

「ちょうど11手で詰みだ。24龍は2024年辰年に相応しい1手だったね」

「6筋への手は先後とも1回ずつ、6段目への手も先後とも1回ずつ。ゲンがいい手を指せたね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 24龍と指した
- ・ 6筋への手、6段目への手はいずれも先後1回ずつ
- ・ 23地点と5筋と5段目への手はなし
- ・ 不成なし

<第170回 詰将棋メモ 推理将棋出題 170-5>

▲76歩、△32飛、▲33角成、△62玉、▲42馬、△37飛成、
▲41馬、△26龍、▲74金、△24龍、▲63金 まで11手

推11 2024/1 Pontamon

歩突きは6筋から 11手

「指し初めは令和6年にピッタリの対局だったね」

「まず、最初の歩の手は6筋だったね」

「6筋と言えば、6筋の着手は6回あったね」

「正月らしく華やかな駒成が無いのは少し残念だけどね」

「着手筋に法則が生まれたのは興味深かった」

「両隣がある7つの筋（2筋～8筋）に着目すると、どの筋も着手があった筋と無かった筋に挟まれているね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

（条件）

- ・ 11手で詰み
- ・ 最初の歩の手は6筋
- ・ 6筋着手は6回
- ・ 2筋～8筋それぞれは、着手があった筋と無かった筋に挟まれている
- ・ 駒成なし

<第170回 詰将棋メモ 推理将棋出題 170-6>

▲76歩、△32飛、▲33角成、△62玉、▲42馬、△37飛成、
▲41馬、△26龍、▲74金、△24龍、▲63金 まで11手

推12 2024/1 ミニバロ 余詰修正

三捨利警部・新春ミステリー 先手も後手もストーカー 13手

「先手は初手3筋の後、ずっと後手の着手した隣の筋に着手したんだな」
「ところが後手も、自ら着手した筋の隣の筋に着手し続けました」
「どうやら単純なストーカー事件ではないようだな」
「あと、金銀は移動した形跡も取られた形跡もありません」
「この13手詰の事件は、頭の中だけで考えると混乱しそうだね」
「今ごろ言うのもなんですが、先手に大駒の手はありません。大駒着手は後手に1回だけです」

ぜひ盤に並べて解いてくださいね

(条件)

- ・ 13手詰
- ・ 先手の初手は3筋で、その後は直前に後手の着手した筋の、隣の筋に着手
- ・ 後手は、直前に自分が着手した筋の、隣の筋に着手（勿論最初の手は自由）
- ・ 金銀釘付け
- ・ 先手に大駒の手はなく、大駒着手は後手に1回だけ

<第171回 詰将棋メモ 推理将棋出題 171-1>

▲36歩、△42玉、▲35歩、△32玉、▲26歩、△24歩、
▲16歩、△12香、▲25歩、△23玉、▲15歩、△32飛、
▲24歩 まで13手

推13 2024/1 るかなん

2024(R6) 17手

「負けました。」

「まだ詰んでないよ？駒割も大駒1枚と小駒2枚の交換ならほぼ互角だろう。」

「でも次指せる手は1つしかないし、その次にこの手で詰むじゃないか。」

「その手以外だと詰まないけど。」

「そうだけど、6度目の”24X”が出たこの17手目の局面で終わらせるのが綺麗だと思ってね。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 17手目に6度目の”24X”(Xは任意の駒)の棋譜表記までで後手が投了
- ・ 終局時の駒割は大駒1枚と小駒2枚の交換（一方が大駒3枚小駒15枚、他方が大駒1枚小駒19枚を持つ）
- ・ 投了図で後手の合法手は1つだけ
- ・ 投了図から2手後に1つだけ詰む着手がある

<第171回 詰将棋メモ 推理将棋出題 171-2>

▲76歩、△24歩、▲33角成、△42銀、▲24馬、△33銀、
▲26歩、△24銀、▲25歩、△42玉、▲24歩、△33玉、
▲26銀、△24玉、▲35銀、△14玉、▲24飛 まで17手

推14 2024/1 はなさかしろう 余詰修正

攻方連続両王手詰 その2.5&その3 2024 44手+45手

「あけましておめでとう！ 年が明けたのにまだ両王手に凝っているの？」

「「謹賀新年！ ちゃんと指し初めしたよ。二局指したところさ」」

「ひとつは、44手で詰んだよ。20～44手目の後手の着手はそれぞれ異なる地点の先手玉への13回連続両王手だったな。7手目は斜め前と斜め後ろに味方の歩がある地点への着手で、14手目は角頭の地点への着手で、最終手が初の成だったよ」

「もうひとつは、45手で詰んだよ。19～45手目の先手の着手はそれぞれ異なる地点の後手玉への14回連続両王手だったよ。同の手は連続で2回（同の手に対して同の手で応じたことがあった）。そして、11手目は初めての龍の手さ」

「ふうん。11手目が初めての龍の手はまあいいけど、ほかはあんまり年賀っぽくない？」

「「そんなことはないよ。龍といえば、ぎざぎざでなが～い身体の持ち主だからね！！」」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

A (その2.5)

- ・44手で詰んだ
- ・20～44手目の後手の着手はそれぞれ異なる地点の先手玉への13回連続両王手
- ・7手目は斜め前と斜め後ろに味方の歩がある地点への着手
- ・14手目は角頭の地点への着手
- ・最終手は初の成

B (その3)

- ・45手で詰んだ
- ・19～45手目の先手の着手はそれぞれ異なる地点の後手玉への14回連続両王手
- ・同の手は連続で2回
- ・11手目は初めての龍の手

<第171回 詰将棋メモ 推理将棋出題 171-3>

A. その2.5

▲76歩、△12香、▲33角不成、△同角、▲75歩、△99角不成、
▲86歩、△11角不成、▲68玉、△33桂、▲77玉、△21角、
▲66玉、△22飛、▲55玉、△44歩、▲同玉、△54歩、
▲33玉、△32飛、▲43玉、△33飛、▲44玉、△43飛、
▲54玉、△44飛、▲55玉、△54飛、▲65玉、△55飛、
▲66玉、△65飛、▲76玉、△66飛、▲77玉、△76飛、
▲87玉、△77飛不成、▲88玉、△87飛不成、▲98玉、△88飛不成、
▲99玉、△98飛成 まで44手

B. その3

▲36歩、△32飛、▲35歩、△34歩、▲同歩、△同飛、
▲38飛、△14飛、▲31飛成、△15飛、▲35龍、△42玉、
▲15龍、△33玉、▲25銀、△44玉、▲14飛、△35玉、
▲24銀、△34玉、▲35銀、△45玉、▲34銀、△44玉、
▲45銀、△55玉、▲44銀、△54玉、▲55銀、△65玉、
▲54銀、△64玉、▲65銀、△75玉、▲64銀、△74玉、
▲75銀、△85玉、▲74銀、△84玉、▲85銀、△95玉、
▲84銀、△94玉、▲95銀 まで45手

抜本的な修正（改作）

- ・44手で詰んだ
- ・18～44手目の後手の着手はそれぞれ異なる地点の先手玉への14回連続両王手
- ・最後の真横方向移動に対して唯一の成で応じた

▲76歩、△32飛、▲33角不成、△同飛、▲75歩、△35飛、
▲74歩、△95飛、▲88飛、△同角成、▲68玉、△79馬、
▲77玉、△85銀、▲66玉、△96飛打、▲75玉、△86銀、
▲76玉、△75銀、▲65玉、△76銀、▲66玉、△65銀、
▲55玉、△66銀、▲56玉、△55銀、▲45玉、△56銀、
▲46玉、△45銀、▲35玉、△46銀、▲36玉、△35銀、
▲25玉、△36銀、▲26玉、△25銀、▲15玉、△26銀、
▲16玉、△15銀 まで44手

推15 2024/1 はなさかしろう

龍だけど龍じゃない指し初め2024 44手

「あけましておめでとう！ 今年は辰年だね」

「謹賀新年！ 芥川ってさ、辰年辰月辰日の生まれにちなんで龍之介なんだってね」

「ではさっそく、よろしく願います。龍を作って、成駒は取らないようにしよう」

「よろしく願います。了解。でも辰という字、元々はハマグリらしいよ」

「ハマグリ…と、王手か。じゃあ蛤にちなんで合駒しよう。でも辰は蟹の方の原字だね」

「そうそう。辰は振に通じ、草木の形が整った状態、という意味らしい」

「振興の振だね。今年は振るった年になるといいな」

「ほんとにね…と、44手で詰んだね。2024年だから、20と24を足して44さ」

「ちょっとこじつけ気味だけど…それじゃおさらいしようか。」

- ・44手で詰んだ
- ・詰上りで全ての駒が盤上にあった
- ・詰上りで成駒は龍2枚、と（※）2枚の計4枚のみ
- ・成駒を取る手はなかった
- ・33手目までは駒打ちがなかった
- ・初手は自陣内の手
- ・10手目と14手目は同と（※）
- ・11手目は11の地点への手
- ・12手目のみが9筋の駒数を増やす手
- ・16手目は同角
- ・18手目は移動直後の先手歩の尻への角の手
- ・21手目は移動直後の後手角の尻へのと（※）の手
- ・23手目と26手目は7筋の駒を8筋に移動する手
- ・24、27、28、35手目のみが9筋の駒数を減らす手
- ・25手目は合駒
- ・29手目は2筋の歩の手
- ・34、36手目は同と（※）で取った駒を取った順に取った筋の5段目に打つ手
- ・37～44手目は19、15、75、71、65、66、45、56の地点に順に駒を打つ手

ということだったね」「うん。指し初めらしい一局だったね」

「「というわけで、本年もよろしく願います！！」」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

※ 会話、条件共に、（※）を付した「と」は、と金（成歩）のことです。

(条件)

- a. 44手で詰んだ
- b. 詰上りで全ての駒が盤上にあった
- c. 詰上りで成駒は龍2枚、と(※)2枚の計4枚のみ
- d. 成駒を取る手はなかった
- e. 33手目までは駒打ちがなかった
- f. 初手は自陣内の手
- g. 10手目と14手目は同と(※)
- h. 11手目は11の地点への手
- i. 12手目のみが9筋の駒数を増やす手
- j. 16手目は同角
- k. 18手目は移動直後の先手歩の尻への角の手
- l. 21手目は移動直後の後手角の尻へのと(※)の手
- m. 23手目と26手目は7筋の駒を8筋に移動する手
- n. 24、27、28、35手目のみが9筋の駒数を減らす手
- o. 25手目は合駒
- p. 29手目は2筋の歩の手
- q. 34、36手目は同と(※)で取った駒を取った順に取った筋の5段目に打つ手
- r. 37～44手目は19、15、75、71、65、66、45、56の地点に順に駒を打つ手

<第171回 詰将棋メモ 推理将棋出題 171-4>

▲18飛、△14歩、▲76歩、△15歩、▲75歩、△16歩、
▲74歩、△17歩成、▲28銀、△同と、▲11飛成、△92飛、
▲38金、△同と、▲13香不成、△同角、▲56歩、△57角不成、
▲73歩成、△75角不成、▲74と、△97角不成、▲84と、△86角不成、
▲68銀、△82銀、▲93香不成、△同飛、▲26歩、△99飛成、
▲55歩、△97香不成、▲同桂、△25銀、▲85桂、△35金、
▲19歩、△15歩、▲75歩、△71歩、▲65香、△66香、
▲45香、△56香 まで44手

推16 2024/3 けいたん

敵駒の金頭に金 9手

「9手で詰みか」

「敵駒の金頭に金の着手があったね」

「とどめは駒取りだったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 敵駒の金頭に金の着手あり
- ・ とどめは駒取り

<第172回 詰将棋メモ 推理将棋出題 172-1>

▲76歩、△32飛、▲33角不成、△42金、▲同角不成、△41玉、
▲62金、△51金、▲同角成 まで9手

推17 2024/3 Pontamon

棋譜に5の文字無し 11手

「今年の指し始めの棋譜を貰ったよ」

「その対局は5筋と5段目の手を指さないルールだったらしいね」

「それで棋譜には5(五)の文字が無いんだ」

「初の駒成は角成じゃなくて歩成で、その手に対して玉の手で応じたんだね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手で詰み
- ・ 棋譜に5(五)の文字が無い
- ・ 初の駒成になる歩成に対して玉の手で応じた

<第172回 詰将棋メモ 推理将棋出題 172-2>

▲76歩、△32飛、▲33角不成、△42金、▲24角不成、△37飛不成、
▲34歩、△32銀、▲33歩成、△41玉、▲42と まで11手

推18 2024/3 小林看空 余詰修正

ぶらぶら歩き 13手

「51へ戻らず、王だけ動かしていたら、大駒に13手で詰められてしまったよ」

「へえっ」

「相手からは、途中で王手はかけられなかったし、成駒も発生しなかったよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 13手目の初王手（大駒）で詰み
- ・ 後手は玉のみを51以外へ着手
- ・ 成駒は出来なかった

<第172回 詰将棋メモ 推理将棋出題 172-3>

▲76歩、△52玉、▲55角、△42玉、▲73角不成、△52玉、
▲82角不成、△62玉、▲75歩、△72玉、▲71角不成、△73玉、
▲74飛 まで13手

推19 2024/4 けいたん

歩ではじまり歩で終わり不成なし 10手

「10手で詰みか」

「歩の着手は初手と2手目と最終手だけだな」

「不成はないね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 10手で詰み
- ・ 歩の着手は初手と2手目と最終手だけ
- ・ 不成なし

<第173回 詰将棋メモ 推理将棋出題 173-1>

▲36歩、△14歩、▲48玉、△13角、▲37玉、△57角成、
▲26玉、△35馬、▲16玉、△15歩 まで10手

推20 2024/4 ミニペロ

歩で始まり歩で終わる(C) 11手

「だめ。最近ボケてきて、さっき指した将棋、忘れちゃった」

「たしか先手の歩の手は、初手と最終手だけだったよ」

「そうそう思い出した。それで・・・」

「先手は駒を取らなかったね」

「そうそう、そうだった。それで・・・」

「2手目と7手目は同じ筋だったね」

「そうそう、そのとおり。よく覚えているね、人の将棋を」

「自分の将棋くらい、自分でおぼえておけよ！」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手詰
- ・ 先手の歩の手は、初手と最終手だけ
- ・ 先手は駒を取らない
- ・ 2手目と7手目は同じ筋

<第173回 詰将棋メモ 推理将棋出題 173-2>

▲26歩、△34歩、▲38銀、△42玉、▲27銀、△33玉、
▲36銀、△24玉、▲25銀、△15玉、▲16歩 まで11手

推21 2024/4 小林看空 余詰修正

突歩詰 13手

「13手で、めずらしい、初王手の突歩詰で勝ったよ」

「ほう」

「最後は、駒も取らずに、しかも不成だったんだんだよ」

「ほう、それはめずらしい」

「相手は4手目に玉を動かしたけれどね」

「ふむ」

「双方とも角は動かさなかったんだ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 13手目の初王手の突歩で詰んだ
- ・ 最終手は駒を取る手ではない
- ・ 最終手は不成の手
- ・ 4手目は玉
- ・ 双方とも角は動かさなかった

<第173回 詰将棋メモ 推理将棋出題 173-3>

▲76歩、△52金右、▲75歩、△61玉、▲74歩、△62飛、
▲73歩成、△82銀、▲63と、△71玉、▲73歩、△61飛、
▲72歩不成 まで13手

推22 2024/5 けいたん 不詰修正

27飛成まで 12手

「27飛成まで12手で詰みか」

「5～9筋の着手は無かったな」

「歩を取るのは1度、8手目だけだね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・27飛成まで12手で詰み
- ・5～9筋の着手無し
- ・歩を取るのは1度、8手目だけ

<第174回 詰将棋メモ 推理将棋出題 174-1>

▲26歩、△34歩、▲25歩、△44角、▲26飛、△同角、
▲48玉、△17角成、▲38玉、△26飛、▲48銀、△27飛成 まで12手

推23 2024/5 小林看空

27飛成 12手

「12手で詰められてしまったんだ」

「あれれ」

「最初、歩を突いて、あとは王だけ動かしていたのがいけなかったのかなあ」

「そうだね、後手も歩突きは2手目だけだったらしいね」

「途中一回だけ王手をかけられて、最終手は、27飛成なんだけれどね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・12手で詰み
- ・歩の手は初手と2手目のみ
- ・3-11手目、先手は玉だけ動かした
- ・先手は途中一回だけ王手をかけられた
- ・最終手27飛成

<第174回 詰将棋メモ 推理将棋出題 174-2>

▲36歩、△14歩、▲48玉、△13角、▲37玉、△46角、
▲26玉、△28角成、▲25玉、△37飛、▲16玉、△27飛成 まで12手

推24 2024/5 Pontamon

27飛成で詰み 12手

「12手目の27飛成で詰んだけどそれが初王手で唯一の駒成だったよ」

「どんな将棋だったの？」

「中段の全ての段で歩頭への着手があったよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 12手目の27飛成で詰み
- ・ 最終手が初王手で唯一の駒成
- ・ 中段の全ての段で歩頭への着手があった

<第174回 詰将棋メモ 推理将棋出題 174-3>

▲26歩、△24歩、▲25歩、△同歩、▲26飛、△同歩、
▲48玉、△14飛、▲38玉、△17飛不成、▲28玉、△27飛成まで12手

推25 2024/6 内田昭 余詰

実戦初形 19手

「初手7筋2手目3筋で始まった将棋、19手で詰んだ局面は駒の損得が無く、先手の駒配置は2度目の実戦初形だったね。」 ※

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 19手目に詰んだ時の先手の駒配置は2回目の実戦初形だった ※
- ・ 初手は7筋で2手目は3筋
- ・ 詰の局面は駒の損得無し

※初期配置は、先手の実戦初形の回数に数えません。

<第175回 詰将棋メモ 推理将棋出題 175-1>

▲78飛、△34歩、▲28飛、△42玉、▲16歩、△33玉、
▲15歩、△24玉、▲14歩、△25玉、▲13歩成、△24歩、
▲18歩、△16玉、▲14と、△25歩、▲15と、△同香、
▲17歩 まで19手

余詰修正の担当案：会話と条件に「王手は2回」を追加

推26 2024/6 けいたん

玉に接しない王手 11手

「11手で詰みか」

「不成があるな」

「3回あった王手は全て玉に接しない王手だったね」

「取った駒は歩1枚だけだな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手で詰み
- ・ 不成あり
- ・ 3回あった王手は全て玉に接しない王手
- ・ 取った駒は歩1枚だけ

<第175回 詰将棋メモ 推理将棋出題 175-2>

▲76歩、△74歩、▲33角不成、△62玉、▲96歩、△73玉、
▲95歩、△84玉、▲66角成、△85玉、▲77桂 まで11手

推27 2024/6 上谷直希 余詰修正

禁欲な駒取り 14手

「ハンデをもらったのに14手で負けてしまった。かなり悔しいよ」

「どんなハンデをもらったの？」

「相手には禁欲ルールで指してもらったんだ。それなのに駒取りの手で詰まされてしまったよ。」※

「それは完敗だね。どんな手順だったの？」

「1手目も2手目もそれぞれの最下段の駒を動かす手だったけど、そこで動かした駒は後の手順では動かなかったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・14手目の駒取りの手で詰み
- ・後手は禁欲ルールを課せられていた※
- ・1手目、2手目は最下段から駒を動かす手であり、そこで動かした駒は後の手順で不動であった

※【禁欲】駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。すなわち、駒を取る手しか選べない場面のみ駒を取ることができる。

<第175回 詰将棋メモ 推理将棋出題 175-3>

▲58玉、△42銀、▲56歩、△14歩、▲55歩、△13角、
▲54歩、△68角不成、▲53歩成、△59角不成、▲62と、△同飛、
▲52歩、△同飛 まで14手

推28 2024/7 けいたん

金を不成で取る手まで 9手

「金を不成で取る手まで9手で詰みか」

「6手目は金の着手だったね」

「王手は2回あったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・金を不成で取る手まで9手で詰み
- ・6手目は金の着手
- ・王手2回

<第176回 詰将棋メモ 推理将棋出題 176-1>

▲76歩、△32飛、▲33角成、△42銀、▲32馬、△52金右、
▲31飛、△62銀、▲41飛不成 まで9手

推29 2024/7 けいたん

角を不成で取る手まで 11手

「角を不成で取る手まで11手で詰みか」

「後手玉は連続で動いたな」

「歩の着手は初手と2手目と3手目だけだね」

「初手と2手目は同じ筋の着手だな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・角を不成で取る手まで11手で詰み
- ・後手玉は連続で動く
- ・歩の着手は初手と2手目と3手目だけ
- ・初手と2手目は同じ筋の着手

<第176回 詰将棋メモ 推理将棋出題 176-2>

▲36歩、△34歩、▲76歩、△32銀、▲37桂、△42玉、
▲25桂、△31玉、▲13桂成、△42飛、▲22角不成 まで11手

推30 2024/7 けいたん 余詰修正

銀を不成で取る手まで 12手

「銀を不成で取る手まで12手で詰みか」

「5手目は飛の着手だね」

「後手がかけた8手目からの3連続王手はすべて駒取りだったな」

「同の手は1回だったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・銀を不成で取る手まで12手で詰み
- ・5手目は飛の着手
- ・後手がかけた8手目からの3連続王手はすべて駒取り
- ・同の手は1回

<第176回 詰将棋メモ 推理将棋出題 176-3>

▲76歩、△34歩、▲66角、△同角、▲18飛、△58角、
▲48玉、△57角不成、▲38玉、△49角成、▲28玉、△39角不成 まで12手

推31 2024/8 けいたん

飛不成まで 10手

「飛不成まで10手で詰みか」

「3手目は同の着手だったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・飛不成まで10手で詰み
- ・3手目は同の着手

<第177回 詰将棋メモ 推理将棋出題 177-1>

▲76歩、△44歩、▲同角、△42飛、▲48玉、△44飛、
▲59金左、△69角、▲38飛、△47飛不成 まで10手

推32 2024/8 Pontamon

プルーフゲームっぽい終局図 11手

「持ち駒がない11手で詰んだこの終局図は、歩の着手が1回だけだったように見えるね」

「そこが不思議な終局図だね。同の手は無く、端以外の各筋の初期配置の駒が盤上を動いたらしいよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 終局時に持ち駒は無く11手で詰んだ
- ・ 終局図では、初期配置の歩が1回だけ動いたような配置
- ・ 端以外の各筋の初期配置の駒が盤上を動いた
- ・ 同の手は無かった

<第177回 詰将棋メモ 推理将棋出題 177-2>

▲76歩、△52玉、▲33角不成、△51金左、▲66歩、△32銀、
▲51角不成、△66角、▲67歩、△33歩、▲42金 まで11手

推33 2024/8 小林看空

飛車とられ両王手 12手

「最初に76歩と突いてみた」

「普通だな」

「12手で角成の両王手で詰められたんだが、直前に動かした飛車を即取られたのは痛かったなあ」

「それはお気の毒さま」

「あ、一回だけ相手玉に王手をかけたかな。それに一回だけこちらの王を動かしたな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・12手で詰み
- ・初手は76歩
- ・11手目は飛の手で12手目は角成でその飛を取る両王手
- ・先手は一回だけ王手した
- ・先手は玉を一回だけ動かした

<第177回 詰将棋メモ 推理将棋出題 177-3>

▲76歩、△14歩、▲44角、△13角、▲53角成、△57角不成、
▲52馬、△同飛、▲58玉、△59角、▲48飛、△同角上成 まで12手

推34 2024/9 Pontamon・飯山修

飯山氏からの図 8手

「これは飯山修氏から提供された図で過去作には無い詰み上がりらしい」

「どんな手順で実現できるのかな？」

「初手は7筋の手で、8手目の2回目の王手で詰みだね」

「ほかにはどんな手があるのかな？」

「駒を横へ動かす手があるし、同で取った駒を同じ段へ打つ手があるね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 8手目の2回目の王手で詰んだ
- ・ 初手は7筋の手
- ・ 駒を横へ動かす手があった
- ・ 同の手で取った駒を同じ段へ打った

<第178回 詰将棋メモ 推理将棋出題 178-1>

▲78金、△34歩、▲56歩、△66角、▲48金、△同角成、
▲69玉、△58金 まで8手

推35 2024/9 けいたん

同角まで 9手

「同角まで9手で詰みか」

「4手目は飛の着手だったね」

「王手が2回あったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 同角まで9手で詰み
- ・ 4手目は飛の着手
- ・ 王手2回

<第178回 詰将棋メモ 推理将棋出題 178-2>

▲76歩、△34歩、▲22角成、△52飛、▲21馬、△42玉、
▲15角、△24歩、▲同角 まで9手

推36 2024/9 るかなん

37枚一致(11手) 11手

「11手で詰んだこの局は、3手目と4手目は同じ筋の着手で、4連続で動いた駒が2枚あったね。」

「終局図で37枚が実戦初形と同じ配置なのはそんな事情があったのか。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手で詰み
- ・ 終局図で盤上の駒のうち37枚は実戦初形と同じ配置
- ・ 3手目と4手目は同じ筋の着手
- ・ 4連続で動いた駒が2枚

<第178回 詰将棋メモ 推理将棋出題 178-3>

▲48金、△24歩、▲49金、△42玉、▲26歩、△32玉、
▲25歩、△23玉、▲24歩、△12玉、▲23歩成 まで11手

推37 2024/10 けいたん

全手順奇数筋 その2 8手

「8手で詰みか」

「初手は銀、3手目は歩の着手だったね」

「全手順奇数筋の着手だったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 8手で詰み
- ・ 初手は銀の着手
- ・ 3手目は歩の着手
- ・ 全手順奇数筋の着手

<第179回 詰将棋メモ 推理将棋出題 179-1>

▲38銀、△14歩、▲56歩、△13角、▲58玉、△79角成、
▲59金左、△57銀 まで8手

推38 2024/10 はなさかしろう

駒込み推理将棋 12手

「12手目に初手と同じ種類の駒の手を指したら2度目の王手がかかって35の玉が詰んだのでございます」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・12手目に初手と同じ種類の駒の手を指したら2度目の王手がかかって35の玉が詰んだ

<第179回 詰将棋メモ 推理将棋出題 179-2>

▲36歩、△84歩、▲48玉、△85歩、▲37玉、△84飛、
▲26玉、△24飛、▲35玉、△44歩、▲46歩、△34歩 まで12手

推39 2024/10 るかなん 余詰修正

37枚一致(13手) 13手

「13手目で詰んだこの局は、成生を選べる手はなくてこの筋に4手目と5手目だけ指したね。」

「これも終局図で37枚が実戦初形と同じ配置…ではあるか。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・13手で詰み
- ・終局図で盤上の駒のうち37枚は実戦初形と同じ配置
- ・成生を選べる手なし
- ・4手目と5手目は同じ筋の着手、それ以外の手でその筋の着手なし

<第179回 詰将棋メモ 推理将棋出題 179-3>

▲26歩、△42玉、▲25歩、△32玉、▲38金、△24歩、
▲27金、△23玉、▲24歩、△同玉、▲26金、△23歩、
▲25金 まで13手

推40 2024/11 けいたん

5手目と7手目は7筋 8手

「8手で詰みか」

「5手目と7手目は7筋の着手だったね」

「大駒を打つ手はないな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 8手で詰み
- ・ 5手目と7手目は7筋の着手
- ・ 大駒を打つ手なし

<第180回 詰将棋メモ 推理将棋出題 180-1>

▲58玉、△34歩、▲59金左、△77角不成、▲78銀、△59角不成、
▲77桂、△68金 まで8手

推41 2024/11 原岡望

38枚原配置 13手

「12手目に置き駒を移動し、13手目 4度目の「同」と思い込んでいたら他の手で詰まされた」

「詰上がり、盤上の駒38枚が原配置とは！他の駒は寝ていたのかな」

「そうそう、横に動いた駒はなかったよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 13手で詰んだ
- ・ 「同」のつく指し手が3回あった
- ・ 12手目に駒を移動し、13手目同のつく指し手を予想していたら、他の手で詰まされた
- ・ 終局時、盤上の38枚の駒は原位置だった
- ・ 横に動いた駒はなかった

※担当補足；「原配置／原位置」は、地点と駒種と所属が同じ。（駒種は全部で14種）

<第180回 詰将棋メモ 推理将棋出題 180-2>

▲26歩、△24歩、▲25歩、△同歩、▲同飛、△42銀、
▲23飛成、△32金、▲同龍、△23歩、▲27歩、△31銀、▲41金 まで13手

推42 2024/11 るかなん 余詰修正

37枚一致(15手) 15手

「15手目で詰んだこの局は王手1回、玉頭の手も1回で、駒取りもその玉頭の手直後の1回だけだったね。」

「また37枚が初期配置と同じなの？」 ※

「玉の周辺へ着手した駒は1種類だけだった。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 15手で詰み
- ・ 終局図で盤上の駒のうち37枚は実戦初形と同じ配置 ※
- ・ 王手1回
- ・ 玉頭の手1回
- ・ 駒取りは玉頭の手直後の1回
- ・ 玉周辺への着手は1種類の駒種

※担当補足；「同じ配置」は、地点と駒種と所属が同じ。(駒種は全部で14種)

<第180回 詰将棋メモ 推理将棋出題 180-3>

▲96歩、△94歩、▲95歩、△52飛、▲94歩、△62玉、
▲93歩成、△72玉、▲94と、△82玉、▲95と、△93玉、
▲96と、△82飛、▲85と まで15手

推43 2024/12 けいたん

金を取る次に金を打つ 9手

「9手で詰みか」

「後手は玉の着手だけだったね」

「先手は、金を取る王手して次に金を打つ王手した。王手はこれだけだな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・9手で詰み
- ・後手は玉の着手だけ
- ・先手は、金を取る王手して次に金を打つ王手した。王手はこれだけ

<第181回 詰将棋メモ 推理将棋出題 181-1>

▲76歩、△52玉、▲33角成、△62玉、▲43馬、△51玉、
▲61馬、△42玉、▲43金 まで9手

推44 2024/12 はなさかしろう

確定全駒初期位置詰 18手

「変わった棋譜を見つけたって？」

「うん。この棋譜を辿ると、18手ですべての駒が確実に初期位置にいる局面になって詰むんだよ。確定全駒初期位置詰というわけさ」 ※

「ほう。確実に、ときたか。途中で同種駒が同時に一方の駒台に複数ある局面があると、後で打つ時にどれを使ったのか棋譜では指定できないけれど、つまりこの棋譜はそういう局面を経由しない、ということで良い？」

「ご明察。確実に、とか確定とか言ったのはその意味だよ」

「了解。でも、18手は長すぎじゃないかな。確定全駒初期位置詰はもっと短手数で実現できると思うけど」

「うん。ただ、この18手の棋譜の場合、初期配置の玉方の歩は詰上りでも全て玉方に所属している、という特徴もあるんだ。それから、不成はなかったよ」

「なるほど。でも、ずいぶんいかつい条件だね。流石に手は狭そうだな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・18手ですべての駒が確実に初期位置にいる局面になって詰む ※
- ・初期配置で先手方の歩は詰上りでも全て先手方に所属する
- ・不成なし

※ 本問では同種駒であっても個体を識別します。40個の物質としての駒のそれぞれが確実に初期位置にあって詰む局面に到る棋譜を見出してください。なお、この棋譜は同種駒が同時に一方の駒台に複数ある局面を経由しません。そのような局面を経由すると、後の駒打ちの際に複数の中からどれが選ばれたのかを棋譜で指定することができないためです。なお、本問で「位置」とは盤上の座標のみを意味し、駒の所属や成生状態は不問です。

<第181回 詰将棋メモ 推理将棋出題 181-2>

▲26歩、△24歩、▲25歩、△同歩、▲同飛、△27歩、
▲28銀、△同歩成、▲24歩、△39銀、▲28飛、△同銀成、
▲39金、△同成銀、▲23歩成、△28飛、▲27歩、△49金 まで18手

推45 2024/12 小林看空 余詰修正

九連続駒取王手 23手

「いやあ、神局ができたよ」

「ほう」

「三手目から王手の連続で23手目に詰めたんだけど、九連続駒取だったんだ」

「それはすごいね」

「端の手はなく、最終手は83金打ちだったよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・23手で詰んだ
- ・先手は3手目から王手の手だけ指した
- ・先手は九連続駒取をした
- ・端の手はなく、最終手は83金

<第181回 詰将棋メモ 推理将棋出題 181-3>

▲76歩、△62金、▲33角不成、△42金、▲同角不成、△41玉、
▲31角成、△52玉、▲53馬、△51玉、▲62馬、△41玉、
▲63馬、△51玉、▲73馬、△61玉、▲83馬、△72飛、
▲同馬、△同玉、▲73飛、△82玉、▲83金 まで23手